

令和 6 年度研究推進計画

学 校 名 東広島市立板城小学校

校 長 名 空本 秀寿

1 研究主題等について

(1) 研究主題

「主体的に自分を表現する児童の育成」
～多様な表現方法を取り入れた学びの場の工夫を通して～

(2) 主題設定の理由

昨年度は、カリキュラムデザインを見つめ直し、年間を通して計画的に表現力を育成するためのカリキュラム・マネジメントを行った。また、話し合いに繋がる「問い」を核として、児童同士が対話を深め、表現力を効果的に高めていく授業を目指し努めた。その結果、生活場面や他の教科から、学習課題を設定し主体的な学びを促すことができた。また、国語科で培ってきた「話し合いの力」を他教科で活用する等、カリキュラムの実施時期を近付けたりと、並行して学習を進めたりすることによって、児童が学びの連続性を感じながら話し合う姿を見ることができた。加えて、これまでペアトークやグループトークで高めてきた「話す力」「聞く力」「話し合う力」を授業の中で発揮させるため、クラストークを提案し、実践した。そして、児童同士が話を繋げ、対話を深めることができる様子も見られるようになってきた。

しかしながら、以下の 2 点において課題が明らかになった。1 点目は、表現力の汎化についてである。クラストークは、年度途中の開始となったため、児童が司会を行い、進行するところまで高めることが難しかった。また、ペアやグループの中では、対話する様子が見られるが、集団解決の場になると一部の児童の対話で進んでしまう傾向があった。2 点目は、ICT の活用についてである。昨年度の第五次学校教育レベルアッププラン等に係るアンケート結果では、活用頻度について東広島市平均が 27.5% に対して本校では 4.2% であり、ICT 活用の実践が不足していることが明らかになった。また、指導者は ICT を児童に活用させていると回答しているが、児童は、日常的に ICT を活用しているという回答した児童は少なく、指導者と児童の回答に乖離があった。

そこで本年度は、さらに多様な表現方法を取り入れた学びの場を設定し、児童がその表現方法を活用して他者との対話を通して学びを深める実践を進めていく。その表現方法の一つとして、ICT の利活用を視野に入れた研究を推進する。ICT の利活用表を作成し、実践をふまえてより精選していくことで、基盤となる児童の ICT 活用スキルの底上げを行うとともに、授業の中で、多様な話し合いに繋げる ICT 活用方法を探り、さらなる児童の表現力育成を目指していきたい。

〈研究仮説〉

多様な表現の仕方に触れる機会を設定し、個別学習の場において児童一人ひとりが理解を深めたり、協働学習の場で自分の考えを共有したりすれば、主体的に自分を表現する力が高まるであろう。

(3) 研究内容

- ICT を使った対話を深めるための教材開発及び教材活用に関わる研究
- 指導の場におけるタブレット端末活用方法の研究
- 教師の指導力向上に関わる研究
- 児童、教師の意識向上に関わる研究

2 検証計画

検証の視点と方法

検証の視点	方法	検証の指標	達成目標
① 思考力・判断力・表現力の育成	単元末テスト	単元末テスト 思考・判断・表現 項目	正答率 70% 以上の児童 の割合 80% 以上
② 児童の意識調査(I C T活用) における肯定的評価の向上	アンケート	児童アンケート	肯定的評価 80%以上
③ 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の構築	授業評価表	教師の相互評価 (4 段階評価)	肯定的評価 平均 3 .2 以 上
④ I C T活用指導力研修への参加	研修への参加	研修への参加率	教員数の 50%以上

3 校内研修計画

PLAN 本年度の研究の方向性の決定		
4 月 5 月	研究組織決定、研究計画 実態把握のためのアンケート作成及び実態調査項目検討 実態調査や意識調査の実施及び結果分析 研究推進計画	
D0 研究仮説に基づく研究授業の実施・研究協議会の実施		
6 月～7 月 8 月 9 月～10 月	理論研修（教科研究、特別支援教育） 学習指導案検討 指導力向上研修 学習指導案検討及び授業実践 I 期	
CHECK 前期達成目標 ACTION 授業提案をもとに、より効果的な指導内容や指導方法、評価計画を検討		
10 月～11 月	学習指導案検討及び授業実践 II 期	
D0 研究仮説に基づく研究授業の実施・研究協議会の実施		
11 月～12 月 12 月～1 月 1 月～3 月	実態調査や意識調査の実施及び結果分析 研究の成果・課題のまとめ 研究紀要作成	
CHECK 後期達成目標 ACTION 検証計画に基づいた結果分析・来年度の計画		

4 研究公開の予定について

公開予定日	なし
公開範囲	
公開内容等	(指定校・推進校等の名称、教科・領域等)